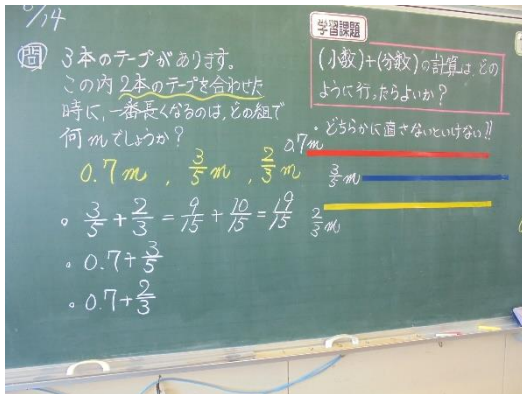


## ◎小針小の授業

小針小学校では、今年度から『Thinking Time (自力解決の時間)』を設定し、自分の考えをもって話し合いに参加すること、学びの過程が分かるノート作りに力を入れて取り組んでいます。

6年生の算数を例に紹介します。

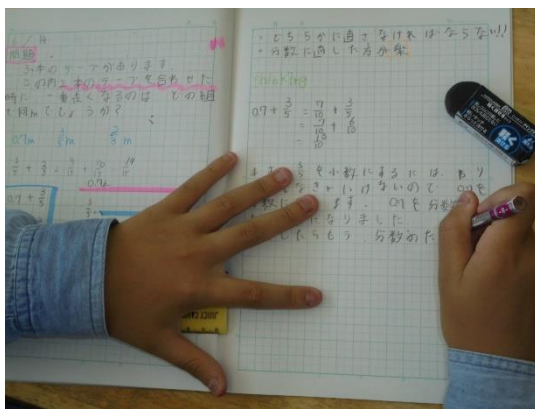


はじめに問題です。

小数+分数の計算は未習です。

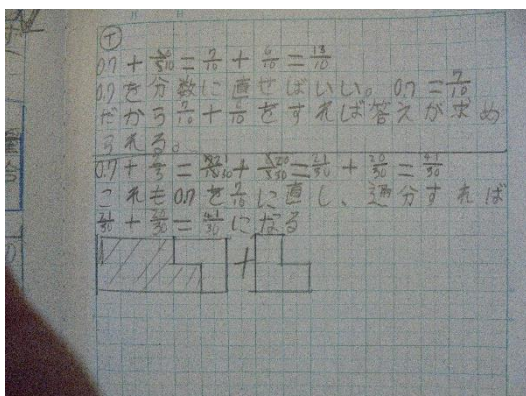
そこで学習課題

「(小数) + (分数) の計算はどのように行ったらよいか？」  
が設定されます。



ここで『Thinking Time (自力解決の時間)』です。

子どもは、自分の考えをノートに書きます。



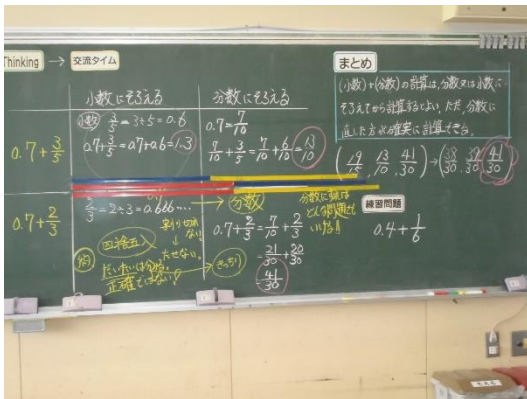
式だけでなく、言葉や図を用いて自分の考えをまとめます。



次に、グループで自分の考えを発表し合います。友達がどんな考え方で解決しているのか質問したり意見交換をしたりします。



グループで話合ったことを全体で共有します。



今日のまとめは、

「(小數) + (分數)の計算は、小數、または分數に直して計算するとよい。ただ、分數に直した方が確実に計算できる。」

となりました。

最後に、練習問題を解いたりミニ作文を書いたりして、学習を振り返ります。